

民主党、党首選挙

開倫塾

林 明夫

- 1．国の最高法規である日本国憲法についての出題は、毎年のように行われています。
- 2．特に国会議員の議員選挙や最高裁判所裁判官の国民審査が行われた翌年の入試では、憲法と関連させた出題が多いようです。
- 3．昨年は衆議院議員の選挙が行われ、自由民主党よりも民主党の候補者がより多く当選し、政権交代がありましたので、その関連の出題が多くの学校の入試で見られました。
- 4．今年の夏の参議院議員選挙では、逆に、民主党よりも自由民主党の方が議席を多く取りました。参議院独特の「全国区」や「比例代表制」などの「選挙の仕組み」、参議院議員の候補者となる権利つまり「被選挙権の年齢」「任期」、「改選の時期」などをおさえておくことをお勧めします。衆議院には「解散」があるが、参議院にはないこと、衆議院と参議院が異なった議決をしたときに活用できる「両院協議会」や、「衆議院の優越」についても勉強して下さい。「衆議院と参議院の定数」も大切です。
- 5．菅さん、小沢さんのどちらが内閣総理大臣になるかは、民主党の総裁選で来週決まります。「歴代の内閣総理大臣の氏名」や「所属する政党名」はしっかり覚えておくことよいでしょう。
- 6．「日本の政党の歴史」も、明治維新や大日本帝国憲法制定に至る歴史、帝国議会開設後の「政党政治の歴史」などとともに、一度はじっくりと勉強してみましょう。
- 7．また、「アメリカの大統領制」と日本やイギリスなどの「議院内閣制」との違い、「2つの制度の下での政党の役割」の違いを学ぶことも日本の政治を理解する上で有益です。
- 8．何のために民主党の党首選挙が行われているのか、その結果、党首として選ばれた人が内閣総理大臣となって日本という国をどのように導いていこうとするのかを、国民の一人として注視し続けることも大事な「公民としての義務」だと思います。

以上